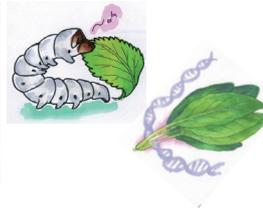


## 実験教室の報告

2017年の夏休みは、国立科学博物館、科学技術館などにおいて、多くのお子さん、ご両親・祖父母のみなさん、およそ600名と実験教室を行いました。ことに中外製薬株式会社CSR推進部、シンジェンタジャパン株式会社とタイアップした実験教室では、アイデアやヒントをいただき、これからの実験教室の改善につながる、まさに「学びあい」の経験をさせていただきました。



## 学会等での発表

くらしとバイオの活動をまとめ、学会等で発表をしました。自分たちの活動の振り返りになると共に、学会参加者と議論したことは、今後の活動に反映させていきたいと考えています。

6月29日 日本ゲノム編集学会第2回大会（ポスター発表）@千里ライフサイエンスセンター

## 講師派遣報告（2017年4月～2017年9月）

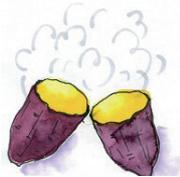
- 5月24日 東京大学 生命倫理
- 5月31日 NPO法人企業教育研究会 模擬授業（千葉大学附属中学校）
- 6月12日 筑波大学 サイエンスコミュニケーション実践講座
- 6月22日 東京農業大学 特別講義
- 6月25日 日本サイエンスコミュニケーション協会 研究会
- 7月10日 東京大学 フードクリエーション
- 8月6日 岡谷蚕糸博物館シルクファクトおかや わくわくふれあいシルクサマーセミナー
- 9月6日 JASIS 2017 ライフサイエンスイノベーションフォーラム
- 9月10日 日本植物学会第81回大会 理事会主催シンポジウム



**会員募集中!**

私たちの活動を応援して下さる協力（個人）会員（1口2,000円～）を常時募集しています!

イベント参加費がお安くなります。（イベントによる）  
イベント情報やこのバイオレター（年2回発行）を優先的にお届けします。



### < 編集後記 >

これまで事務局長を務めていた三宅が退職し、8月より田中利一が事務局長となりました。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。さて、内閣府の戦略的イノベーション創造プロジェクト（SIP）の新しい育種技術（NBT）社会実装コンソーシアムメンバーとしての活動も4年目になりました。今年の初夏にはNBTを利用して開発されたイネやジャガイモの野外ほ場試験が始まりました。私たちはバイオカフェや実験教室で関連情報を発信しながら、NBTを応用した日本発の農作物の誕生を心待ちにしています。しかし、私たちはわずかな人数で活動しています。記事でも紹介したバイオカフェコーディネーター養成研修会を開くなど、仲間を増やす取り組みを行っているところです。このレターをお読みのみなさま、一緒にバイオカフェを開きませんか。ご関心のある方のお声掛けをお待ちしています。

編集 佐々義子・笹川由紀・二瓶美郷、カット 中村典子

特定非営利活動法人 **くらしとバイオプラザ21**

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-5-3 日宝茅場町ビル8階  
電話:03-5651-5810 FAX:03-3669-7810 e-mail: bio@life-bio.or.jp

<https://www.facebook.com/lifebio21/>

[@life\\_bio\\_21](https://twitter.com/life_bio_21)



## 活動報告



### 平成 29 年度 くらしとバイオプラザ 21 総会記念講演会 「機能性表示食品ビジネスの展望」

2017 年 5 月 18 日に銀座フェニックスで開催した、くらしとバイオプラザ 21 総会記念講演会ですが、今年度は株式会社グローバルニュートリショングループの武田猛代表取締役を講師にお迎えしました。機能性表示食品制度発足から 2 年、届け出数累計 900 超、750-800 億円市場に成長したこのビジネスの現状から始まり、トクホとの比較、消費者の銘柄選定の理由、将来的に機能性食品に求められる要素、消費者のベネフィット、届け出時の考慮点を伺いました。機能性表示食品のリスクと限界として、効果不満情報の拡散や顧客層の狭小化が指摘され、また、表示の適切性が強調されました。最後に、多くのトレンドがアメリカ市場からタイムラグで日本を始め世界へ拡散する中、原料ブランディングによる差別化の時代に入り始めており、日本企業も差別化された原料を使った研究成果を論文にまとめて海外の雑誌に投稿し特許をとり、活躍してもらいたいと、ビジネスの展望と期待が語られました。



武田猛氏の講演



講演会の様子



### 告知：サイエンスアゴラ 2017

#### 納得して医薬品とつきあうために～医薬品の効き目と価格

2013 年にサイエンスアゴラで初めてシンポジウムを開きました。タイトルは「メディアとともに考えるくすりの副作用」でした。ちょうど関連した冊子ができあがり、メディア、研究者のみなさんと話し合い、考える機会をつくり、サイエンスアゴラ賞をいただきました。

今年は作用と副作用に薬価なども加えて、より広い視野から考え、話し合いたいと思います。どうぞお出かけください。

日時：2017 年 11 月 25 日 (土) 13:30~15:00

会場：テレコムセンタービル 20 階 第二会議室 (これまでと会場が異なります！)

話題提供：川原章氏 (日本製薬工業協会 専務理事)

黒川達夫氏 (くすりの適正使用協議会 理事長)

定員：40 名

お申込み / お問い合わせ：参加希望者は、「サイエンスアゴラ 2017 シンポ参加希望」として、氏名、連絡先 (メールアドレスなど) を記入し、bio@life-bio.or.jp までお申込みください。(当日受付も予定しておりますが、可能な限り事前にお申込みをいただきますよう、お願いいたします。)

主催：くらしとバイオプラザ 21

## 2017年5月24～26日 ifia JAPAN 2017 第22回 国際食品素材／添加物展・会議 ブース & セミナー出展

今年の ifia JAPAN では初日の 24 日にセミナーを開催、日本生活協同組合連合会の鬼武一夫氏に「国際機関における食品表示と生協の考え方」、消費生活コンサルタントの森田満樹氏に「食品表示法 2 年を経過して～論点整理と今後の課題」と題して、それぞれご講演いただきました。参加者は 100 名を越え、食品表示へ対する世間一般の関心の高まりがうかがわれました。



## 2017年7月8日 サイエンスカフェコーディネーター養成研修会開催

内閣府戦略的イノベーション創造プロジェクト（SIP）の新しい育種技術（NBT）社会実装コンソーシアムでの活動の一環として、より広範なバイオカフェ開催のために、一緒にバイオカフェを企画、実施して下さる方向けの研修会を開きました。12 名の方に参加いただき、講義の他、ミニバイオカフェの実践などを行いました。現在、研修会参加者にバイオカフェにおいてファシリテーター、記録係などとして参加し、バイオカフェの現場を体験していただいています。11 月 30 日には受講生として参加した高校教員が企画したバイオカフェを岩手県立水沢高等学校で行います。



## 2017年9月19日 コンシューマーズカフェ 「農業分野におけるゲノム編集技術とその規制をめぐる国内外の動き」

ゲノム編集技術を使った作物などに対し、遺伝子組換え作物と同じように環境影響評価や食品として安全性確認が求められるようになるのか、注目が集まっています。名古屋大学大学院環境学研究科の立川雅司氏をお招きし、国内外のゲノム編集技術の研究開発の動向と関連する規制がどのように検討されているか、国により検討の進捗状況はどのようになっているかをお話いただきました。ことに EU、アメリカ、ニュージーランド、アルゼンチンのケースを踏まえ、日本における主な意見が紹介され、消費者としてどのように考えていくのがよいかを話し合いました。



## 2017年9月20日 日本モンサント株式会社主催 第1回 FOODS NEXT 学生動画コンテスト 「理系学生がデジタル動画でサイエンス・コミュニケーションに挑戦！」

日本モンサントが企画した遺伝子組換え作物や食品について、多くの人に関心を持ってもらいたいと、大学生対象の動画コンテストが開催され、くらしとバイオから 2 名が、堀江貴文氏らと一緒に審査員として参加しました。当日は 3 チームの大学生の力作が発表され、最優秀の作品には Grand Vine Award が送られました。

また、日本モンサント社とは NPO 法人企業教育研究会作成の中学校・高等学校向け教材「農業を支えるバイオテクノロジー」開発のお手伝いもしました。こちらは NPO 法人企業教育研究会のホームページからダウンロードしてお使いいただけます。



## 2017年8月 食品化学新聞「広げてつながるリスクコミュニケーション」連載開始

5 月に出版した ifia JAPAN 2017 の主催を務め、冊子「知っておきたいこと（食品添加物編）」作成・改訂にもご協力くださっている日本食品化学新聞社の食品化学新聞に、「広げてつながるリスクコミュニケーション」というリレー連載をくらしとバイオプラザ 2 1 監修で 2017 年 8 月から始めました。食だけでなく、医薬品、環境など様々な分野におけるリスクコミュニケーションの実践報告、振り返りなどを様々な分野の方と発信していきます。



# バイオカフェの この頃



3月10日 洋菓子店 門 日本橋店  
味の素株式会社  
グローバルコミュニケーション部  
小川裕子氏  
「アミノ酸はすごい！」



4月14日 洋菓子店 門 日本橋店  
農研機構 食品研究部門  
宮ノ下明大氏  
「イモムシがチョコレートと出会ったら」



5月19日 東京テクニカルカレッジ  
株式会社日本農林社  
近藤友宏氏  
「タネ屋（種苗会社）のお仕事」



6月4日 多摩六都科学館  
味の素ゼネラルフーズ株式会社  
井村直人氏  
「コーヒーのおいしさを科学する」



6月9日 洋菓子店 門 日本橋店  
日本製菓工業協会  
川原章氏  
「クスリに関するよもやま話  
～種類、研究開発、価格など」



6月18日 丹誠塾「KURA」  
農研機構 野菜花き研究部門  
佐々木克友氏  
「世界でひとつだけの花 ～先端技術で  
創り出されるステキな品種」



9月15日 洋菓子店 門 日本橋店  
花王株式会社 ヘアケア研究所  
小池謙造氏  
「ヘアケアってなに？  
～美しい髪へのアプローチ、  
ケアの基本から最新技術まで」



9月16日 倉敷市芸文館  
岡山大学大学院 環境生命科学研究科  
加藤鎌司氏  
「おいしいメロンの祖先を遺伝子から  
訪ねる」



9月16日 倉敷芸文館  
食の安全・安心財団 評議員/  
生活協同組合コープこうべ 元理事  
伊藤潤子氏  
「遺伝子組換え食品との出会いから  
20余年～振り返りと学んだこと」

## これからのバイオカフェ

ここに紹介する以外、年明け以降にもバイオカフェを企画しています。くらしとバイオのHPやFaceBook、Twitterなどでも開催情報を発信しています。どうぞ、お誘い合わせのうえ、お気楽においで下さい。なお、会場により事前申込みの有無、参加費が異なりますのでお気をつけください。

- 10月20日（金）「加工品に食べごろってあるの？」食品化学新聞社 川本浩二氏（洋菓子店 門 日本橋店）
- 10月23日（月）「新たな品種改良法“ゲノム編集”とは？～健康によりキャノーラ油の作出をモデルとして」玉川大学 農学部 奥崎文子氏（三井住友銀行 SMBC パーク栄）
- 10月28日（土）「愛知県農総試における野菜の品種育成～個性あふれる愛知生まれの野菜たち～」愛知県農業総合試験場 園芸研究部 大藪哲也氏、「ゲノムデザインでエネルギー作物をつくる～育種にイノベーションを起こしたDNA情報～」名古屋大学 生物機能開発利用センター 佐塚隆志氏（いずれも愛知県図書館）
- 11月7日（木）「野菜の病害虫対策～秋野菜に発生しやすい病気や害虫を上手に防ぐ方法」住友化学園芸株式会社 草間祐輔氏（三鷹ネットワーク大学）
- 11月11日「しょうゆのおもしろ科学」キッコーマン株式会社 片山弘氏（千葉県立現代産業科学館）
- 11月24日「私達の身体にすむ細菌たち」理科学研究所 統合医科学研究センター/東京大学 新領域創成科学研究科/早稲田大学 規範科学総合研究所 須田互氏（東京テクニカルカレッジ）
- 11月30日「(未定)」岩手大学 農学部 由比進氏（岩手県立水沢高等学校）